

# 一般質問 (要旨)

第2回定例会では、5月19日、20日、23日、24日の4日間にわたり21人の議員から一般質問が行われました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



## 市原 広子

### マイナンバーカードを使う 証明書のコンビニ交付

**問** ①初期費用、年間ランニングコスト②窓口、自動交付機での交付枚数③手数料収入④庁舎自動交付機の今後⑤コンビニ交付切り替えは反対。選べない。コンビニ手数料は高く、窓口等の手数料を安くせよ。  
**答** ①約3100万円。経費は2カ月で約220万円②26年度窓口4万4417通、自動交付機計4万1876通③26年度窓口約1332万円、自動交付機約837万円④代替機器設置等検討⑤手数料は検討。

### 生活再建型徴税行政基本方針を作れ

**問** ①差押え件数。現年分少ないか②滞納理由、背景の統計は③生活相談、滞納処理と連携して納税相談を④こまYELLでの相談内容⑤掛川市等の例。生活再建型徴税基本方針作れ。  
**答** ①1596件。現年分が多い②統計は取っていない③こまYELLと連携対応④納税課からの相談49件含め経済的課題の相談176名⑤徴収率安定し必要があれば調査・研究を検討  
**他に、離婚後親子の面会交流支援について質問**



## 三宅 眞

### 「首都直下地震の備え」に 関する自助共助公助

**問** ①現在の耐震基準を満たしていない可能性のある木造住宅の把握は。②耐震化率向上の課題は。③避難所受け入れキャパシティは。④食料品、生活用品の充足率は。⑤日中被災時の中高生活用は。⑥被災時のデータ安全性は。⑦公的備蓄で食料は避難想定人数の何食分か。⑧多摩川の大規模救出救助拠点で物資搬送は可能か。⑨発災時の水確保は。⑩被災時情報発信でのSNSに関する見解は。

### 「東京都市の耐震化率推 計方法が示されていない ため不明」周知や耐震の 意識づけ③不足の場合は体 育館以外の施設を利用④食 料品は97%で7月末までに 補充、生活用品は100% ⑤戦力と期待し各中学校で 防災訓練実施⑥サーバーを 防災センターに設置し非常 電源も確保⑦一人あたり8 食分、不足分は7月末まで に補充⑧被害等の状況によ り可能と認識⑨井戸水、和 泉本町浄水所等で確保⑩有 用性は認識。内容等を検討 **他に、事業計画策定時の REAS活用事例について**

**答** ①国民等の交通に対する基本的な需要が適切に充足されることが重要であるとの認識のもと同法内で定めた基本理念に則った交通に関する施策を策定し、実施するとしている。②移動手段の確保は重要。必要に応じて検討していきたい。



## 山田 たくじ

### コンパクトシティ狛江の 都市(交通)政策

**問** ①交通政策基本法に謳われている地方自治体の施策とは。②狛江にもコミュニティバスだけに頼らない総合的な交通を計画・協議する場が必要ではないか。

### インクルーシブ(包摂型) なまちづくり

**問** ①狛江市福祉基本条例の制定の経緯。②登校拒否、ニートやひきこもりの人々への対策。③条例第5条「福祉教育」の現状。④今後の市における「包摂」のまちづくりの方向性。  
**答** ①検討委員会より答申された条例案を市長が議会に提案②適応指導を行う「ゆうゆう教室」、こまYELLで相談支援等③「ふくしえほんあいつびあ」の配布や教科や領域の学習で指導等④様々な方が活躍できるように地域活動等に広がれば。



## 太田 久美子

### 成年後見人制度の 推進について

**問** ①成年後見人制度利用促進についての考え方。②制度の周知をどうするか。③成年後見人確保のための取り組みは。  
**答** ①成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ検討②無料相談会等③多摩南部成年後見センターで社会貢献型後見人選定等を実施  
**将来の人口減に対応する  
まちづくり**  
**問** ①市の将来人口の認識。②2060年に6万6千人に減少することへの対策は③人口減に対応するま

### ちづくりについて市の考え ①2020年をピーク に減少に転じると想定 ②狛江市総合戦略を推進③ 人口総数のほか人口構造上 の課題解決に向け取り組み 高齢者が安心して暮らせるまちへ

**問** ①高齢者の現状について。②特養老人ホームへの利用負担を軽減すべきと考えるが。③今後の高齢者対策について。  
**答** ①65歳以上1万9318人、高齢化率24%。②社会福祉法人等による軽減制度の利用調整。③多様な担い手によるサービス創設。



## 辻村 ともこ

### 岩戸北電研前における 幼稚園バス停設置について

**問** ①人口動態について②市内幼稚園在園児数増加について③調布都市計画道路3・4・16号線の進捗状況④小田急バスの運行状況⑤「通園バスでの事故死者を出さない」安心安全な道路づくりを目指して。  
**答** ①平成32年まで増加し、その後、増加することも考えられる③事業施行期間内に完了予定④約35分に1本、1日28本運行⑤通園バスの安心安全について関係各所の意見を伺い適切な対応。

### 安心安全なまちづくりに ついて

**問** ①高橋市長になり防犯面で変化は②防犯カメラの効果③「市民センター」を考える市民の会が無関係な講演のメール送付は目的の再利用では④同団体が講演会開催時に、違う団体名で借りたのは名義貸しでは。  
**答** ①調布警察署と覚書を締結②平成27年の刑法犯認知件数が都内区市最少とするのは目的外利用④実行委員会形式で開催することが判明したことから、利用団体の変更を指示し正した。



## 石井 功

### 狛江市の農業と農地対策 について

**問** ①市では一度解除をした土地を再度生産緑地に戻すことはできないが、他の自治体では。②再度の生産緑地の指定が必要では。  
**答** ①三鷹市、国分寺市は、農地転用の届け出をした後でも、現状農地となっていて、営農の意思がある場合に限り、再指定が可能との見解。②緑地の保全を推進するためには、生産緑地の再指定も必要。他市の状況を注視しながら、引き続き検討。

### 都市計画道路の整備推進 について

**問** 調布都市計画道路3・4・16号線基本計画策定業務委託が予算計上されているが、具体的な進め方について。  
**答** 小田急高架下七差路の安全対策、交通幹線の構築、木造密集地域の解消等に期待。現況調査の実施課題の整理、周辺区域のまちづくりの将来像の検討をしながら、段階的整備工程の検討、概算整備費積算。また、水道道路とのネットワークの検討を行いつつ基本計画の作成をしていきたい。



## 篠 浩司

### 防災における 自助意識向上について

**問** ①自助意識向上に対しての課題と取り組みは。②安心安全分野の刊行物をホームページ上で一括集約できないか。  
**答** ①備蓄品の意識は高いが宅内での災害対策は必要。防災カレッジ、安心安全機関紙で啓発。②利用しやすい環境を整えていく。  
**子育て環境について**  
**問** ①保育園整備計画前倒しによる見直し。②子育て専門員の専門性向上への取り組み。③子育て専門員に相談をつなげるための取り組み。  
**答** ①さらに認可保育所1園の追加整備②都が実施する研修等へ積極的な参加など③市内関係施設への協力依頼等積極的な周知。  
**ラ・フォル・ジュルネ音楽祭について**  
**問** ①当日の様子と来場者数。②来場者からの感想は。③混雑等はなかったか。④担当部の所感を伺う。  
**答** ①盛況で、延べ1万3千人②「良かった」という評価多数③混雑もなく無事に運営④実行委員会をはじめ多くの皆様に感謝。